

府中市議会 第12回議会改革特別委員会会議録（要約）

令和元年6月12日午前10時1分、議会改革特別委員会を第二委員会室において開会した。

1 出席委員

委員	長	三藤毅	副委員	長	本谷宏行
委員		加納孝彦	委員		安友正章
委員		土井基司	委員		加島広宣
委員		岡田隆行			
副議長		大本千香子			

1 欠席委員

なし

1 説明のため出席した者

なし

1 事務局及び書記

議事係長 小林正樹 主任主事 小川愛美

1 本日の会議に付した事件

- (1) 調査事項について
- (2) その他

~~~~~

午前10時1分 開会

1 調査事項について

前回決定した調査事項について、班内で意見の確認・調整を行った後、全体で意見交換を行った。主な意見は次のとおり。

(1) なり手の掘り起こし、環境整備について

- ・議員や傍聴者の方が子供を預けられるようなチャイルドルーム（預かり施設）の設置等、子連れで来ても大丈夫な環境整備が必要と思う。
- ・設備として、モニターや、パソコン上のデータを使っての一般質問ができる仕組みが必要ではないか。
- ・聴覚障害者の方などに向けて、要約筆記等、内容が伝わるようなものが必要。モニターがあればそういうこともできる。
- ・申し合わせで決まっていることについて、報道関係者の取扱いや、分科会への市長・副市長の出席、意見書・決議案の取扱いを再考しては。←議会運営委員会で整理すべきものもある。
- ・国等に要望する必要があるものもちろんあるが、時間配分としては市でできるこ

とに多く時間を割いたほうがよい。

・議員インターンシップの取り組みをやっている団体があり、大学生や高校生を対象に、議員に張り付いて仕事を見ることができている取り組みをやっている。福山市の市会議員や県会議員にも受け入れている方がいる。

## (2) 市民への情報発信について

- ・委員会でやっている各種団体との意見交換会の拡充も必要。
- ・議場を、議会以外の期間で開放し、身近に感じてもらうのはどうか。たとえば、ミニコンサートや夏休みの子供の学習室利用など。
- ・議会だよりより広報ふちゅうのほうがよく読まれている印象。これをセットにすることでより多くの方に読んでもらえるのではないかと。←広報は生活に関する情報が多く、議会だよりとは内容が違う。ページ数がふえることや発行回数の違いについて研究が必要。
- ・議会報告会、意見交換会、市長が行っている懇談会等いろいろとあるが、住み分けについてどのように考えられているか。←いかに市民の声を聞き、市政に反映させていくかが重要であり、吸い上げた意見についてまとめ、政策提言する仕組みを整えているところだと認識している。市議会としての大きな取り組みとして、分けるのではなくまとめてもよい。
- ・議会報告会と意見交換会を一緒にするならば、話すテーマについて募集をかけるのはどうか。出前（押しかけ）意見交換会のほうは、常任委員会で問題になっていることについて団体の方に意見を聞くといった住み分けをしてはどうか。
- ・既存の議会だよりやホームページの改善・充実について、細かい内容は広報広聴特別委員会で決めるべきことと思う。←情報発信という大枠についてはある程度議会改革特別委員会の場で結論を出した上で広報広聴特別委員会に返すべき。

出た意見について、会派に持ち帰り協議し、議会改革特別委員会の場で集約することとした。

## 2 その他

次回の委員会は6月28日に開催することとした。

午後0時0分 散会

府中市議会委員会条例第29条第1項の規定により、ここに押印する。

令和元年6月20日

府中市議会改革特別委員会  
委員長 三 藤 毅